

## 水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和4年6月8日
タイトル	！コロナに負けずにヒマワリ元気に育てて！ (子どもを守るプロジェクト)
水土里レポーター名	長崎県山田原第2土地改良区 力野和久

紫陽花が今満開を迎える季節となりましたが、今年度も長崎県内の女性団体が連携し、子どもと子育て家庭を支える「こどもを守る長崎ひまわりプロジェクト」で、雲仙市内の小中学校に託されたひまわりの苗を山田原第2地区内の大塚小学校2年生26名が植付作業を行いました。この苗は、JA島原雲仙農業協同組合女性部の皆さんが育てた苗が届けられたものです。この活動は、各地域でひまわりを植えたり、通学する子ども達の見守りなども実施されているとのこと。雲仙市内の女性団体7団体が協力して約3千本のヒマワリの苗を市立の24小中学校に配布されました。

大塚小学校では、約150本の苗をプランターから花壇に植付ました。7月末から8月にかけて大輪の花を咲かせ子どもたちの登下校に笑顔で答えてくれることでしょう。

これから、毎日雑草取りや水やりを交代で担当いたします。ある子供は、「私もひまわりみたいに毎日明るく元気ががんばります」と答えてくれました。

11月には、3年生の皆さんが、おおつかっ子探検隊として山田原第2地区内で農業体験や収穫体験を行います。

【連絡先：0957-38-6266】



【ひまわりの苗を植え付ける大塚小学校2年生に皆さん】